

INTER KYOTO

インターキョウト

2006.3.31 No.29

社団法人京都府情報産業協会
発行：広報委員会

会長直言

日本人が守るべき精神文化

(社)京都府情報産業協会 会長 植田 弘毅

学生の夏休みが終わった昨年の秋、毎朝定刻の電車で通勤している同じ顔ぶれの中の一人に、所持品から推測すると偏差値の高い某有名大学の学生がいつも割り込みするので、思い余って注意すると、所謂「逆切れ」でネクタイをつかまれたことがありました。

公衆道徳の後退を嘆いている折りの年の瀬が押し迫った昨年12月、道徳観・倫理観の言葉に惹かれて薬師寺の安田管主様の法話を拝聴する機会を得ました。この時の法話の中で、広島県の小学校の話として、給食時に「いただきます」と言った学童に対して教師が宗教的作法だからといって止めさせた話をされました。

この2つの例が極端な事象としても、こういう事象が出てくる精神文化の土壌というか、心の基盤は間違いなく後退していると思います。最近の痛ましい事件や道徳観・倫理観の欠如に

見る企業犯罪は年々増加しており、こうした変化と無関係ではないと思っています。このような変化を正す動きが今の日本には見られません。また、この状況を是認し、性悪説に立って健全な社会基盤を維持しようとするれば莫大なコストを背負わなければなりません。安田管主様は「宗教家に求められる責任は重い」と締めくくられました。

あの日以降、あの学生は私の視界から消えました。胡散臭い親父...ということで、違う乗車口、違う電車でまだやっているのだろうか？ 将来、家庭を持ったら子供にどのような躰をするのだろうか？「恥ずかしいことをした」と後悔してくれていたら...と念じて止まない。



情報 コラム

9

けいはんなのITコミュニティ

けいはんな・ITコミュニティ形成事業
クラスターマネージャー

藤本 和則

情報産業を活性化する顔の見える人的ネットワークを関西文化学術研究都市（以下けいはんな学研都市）を中心に創ろう。「けいはんな・ITコミュニティ形成事業（以下「KITコミュニティ）」は、こうしたミッションのもと、近畿経済産業局が進める産業クラスター計画のけいはんな拠点として、平成17年度からスタートしました。推進本部は(株)けいはんな 新産業創出・交流センター内に置かれます。

平成17年度のKITコミュニティの目標は2つです。1つは11件の事業化・産業化の成功事例を創出する（3月3日現在9件達成）ことで、けいはんなにおける研究成果やベンチャー企業の技術をもとに、大きな産業に発展することが期待されるテーマを取り上げます。もう1つは、会員数150のコミュニティを形成する（3月3日現在125会員）こと。これは、けいはんな学研都市及びその周辺から150社（者）規模の会員組織を形成し、新事業が次々と生まれる拠点をつくります。

目標を達成するため、これまでに、「ビジネスプラン発表会」、「技術シーズ発表会」、「販路開拓支援事業」など数多くの事業を実施しました。また、本年度の締めくくりとして3月13日には東京でフォーラム「けいはんなの新産業革命」を開催し、関東地域の企業等にもけいはんな学研都市を大きくアピールします。

本事業では「けいはんな学研都市から、世界で通用する技術/商品/サービスを、そして世界へ羽ばたく企業を輩出する」ことを目指します。みなさまのご参加を心からお待ちしています。

詳細は、KITコミュニティのホームページ（http://keihanna.biz/kit_community/）をご覧ください。

これまでの取り組み成果を発表

SE研究会・ 成果発表会

開催報告

主催：技術委員会

日 時：2月8日(水)
18:00~19:00
会 場：平安会館
テ ー マ：「SE研究会・成果発表会」
参 加 者：28名



藤原大輔氏(中信コンピュータ&コミュニケーション㈱)

昨年度に引き続き、平成17年9月から“品質問題研究会(参加7名)”、“情報セキュリティ問題研究会(参加13名)”、“新技術利用&開発効率問題研究会(参加8名)”の3つの「SE研究会」をそれぞれ4回開催し、その成果報告として発表会を開催しました。

各研究会とも、昨年度の研究内容を更に掘り下げ、各企業の取り組みにおける成功事例・失敗事例を交えた討論をし、今後の課題解決につなげようとの思いも含め非常に熱心な研究会となりました。成果発表会では研究会ごとのテーマを基に、他社との比較を含めた取り組み成果や今後の対応策についての発表がなされ、実のある発表会となりました。

オープン技術 セミナー

開催報告

主催：技術委員会

開催日時：2月10日(金) 15:30~17:00
会 場：平安会館
テ ー マ：「ユニバーサル・コミュニケーション技術の将来イメージと推進方策」
講 師：総務省 情報通信政策局 技術政策課 技術企画調整官 平和昌氏
参 加 者：57名(会員37名、会員外20名)

オープン技術セミナーとして、「ユニバーサル・コミュニケーション技術の将来イメージと推進方策」についてのセミナーを開催しました。

本セミナーでは、ユビキタスネット社会の実現に不可欠なユニバーサル・コミュニケーション技術の将来イメージを展望として、高度コンテンツ創造技術、超臨場感コミュニケーション技術、スーパーコミュニケーション技術、ユビキタス&ユニバーサルタウン技術や、ユビキタスネットワーク基盤技術の研究開発など、盛りだくさんの内容について聞くことができました。また、近い将来、実現すると思われるこれらの技術は、利用する側にとっても大変楽しみなコミュニケーション技術であり、社会的・経済的波及効果も大いに期待がもてるのではないかと実感できる内容でした。



ユビキタス基盤技術について講演



講師の平和昌氏



第2回 情報交換広場

開催報告

主催：経営委員会

開催日時：2月16日(木)
16:30~18:30
会 場：ぱるるプラザ京都
テ ー マ：「個人情報保護法施行後の
各社取り組み」
参 加 者：14社から20名



渦中のテーマについて
熱心に検討

今回の情報交換広場開催にあたり、会員20社から事前にアンケートを行い、その集計結果を確認した後に各社のプライバシーマーク取得などの現状報告がありました。引き続き意見交換が行われましたが、プライバシーマーク取得、更新時の問題点、社員教育方法、情報の廃棄、管理方法など、まさに各社各様に対応を検討しなくてはならない渦中のテーマであったために白熱した意見が交され、たいへん有意義な情報交換の場となりました。



会員だより

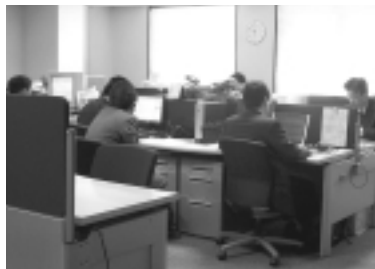
会員企業、社員の皆さんのユニークな取り組みやトピックスを紹介するコーナー。
我こそはと思われる方は、自薦・他薦を問いませんので、ぜひ事務局までお申し出ください。

元気印の企業紹介

ウエダコンピュータシステム(株)

お客様のニーズに応える新サービス

内田洋行グループの一員として、中小企業や地方自治体、福祉施設のユーザーに向けて、様々なシステムソリューションの提供、アプリケーションの開発などを行なっています。



優秀なスタッフが勢ぞろい

なかでも、同社が運営する「京都おいし小路」は、伝統ある老舗の味覚から、創作を凝らした発見の味まで、京都の“おいしいもん”を集めたショッピングモール。ネットでしか手に入らないユニークなアイテムを多数揃えていると評判です。(<http://www.oishikoji.com/>)

そのほか、オフィスに存在するあらゆる書類を電子フォーム化し、電子承認を行うワークフロー機能を提供する「FormPat 2.0」、輸出業務独特の面倒な船積みドキュメント作成をシステム化した「VPort super」など、自社開発のソフトウェアパッケージの販売を強力に推進。「お客様のニーズに的確に応えていくため、新規分野への進出や顧客開拓など、チャレンジ精神を持って取り組んでいきたいと思ひます」と意気込みを話します。

京都市下京区五条通堺町角

TEL 075-341-4141

URL <http://www.ueda.co.jp/>

カゴヤ・ジャパン(株)

ホスティング事業を核にネットサービスを充実

“与えられた舞台はすべて使い切れ”をモットーに、次々とインターネット関連サービスを充実させてきました。ホス



「けいはんなラボ」の予想完成図

ティング事業のLinux OSレンタルサーバーブランド「KAGOYA Internet Routing」、数多くの言語が使える月額840円と手軽に始められるWindowsサーバーブランド「DOSABA」、自社で簡単にネットショップを構築できるツール「Store Unity」など、ユニークなツールがお客様から好評を得ています。

現在、データセンター事業では市内2箇所サービスを展開しているほか、今年5月にけいはんな地区に自社のデータセンター「けいはんなラボ」をオープンする予定です。近年、耐震に優れた社外データセンターにサーバーを置く会社が増えています。が、「けいはんなラボ」は建物全体が免震になっており、関東地域のバックアップサーバーとしての需要にも応え得ると期待しています。「今後はASPサービスなどにも力を入れていきたいですね」。カゴヤ・ジャパンの活躍の“舞台”はまだまだ広がりそうです。

京都府京田辺市田辺中央1-5-5

TEL 0774-68-5858

URL <http://www.kagoya.com/>

我が社のイチオシさん!

末広 ゆかりさん 京都情報大学院大学 京都コンピュータ学院 広報部副部長

Shall We Dance?



私は、京都コンピュータ学院と京都情報大学院大学に勤務する傍ら、ダンサーの活動も行っていきます。私がダンスを始めたきっかけは、「話のネタ」程度の軽い気持ちでエアロビクスを体験してみたことです。やる前は簡単だろうと高をくくっていたのですが、やってみると体が思ったように動かないんです！ わげがわからないまま、激しいステップが終わり、マットの上でクールダウンをした時、体が風船のように浮いているような感覚を持ちました。なんて気持ちが良いんだろうと思ひ、それからは仕

事帰りに毎日通うようになりました。今では、モダンダンス、ジャズダンス、バレエ、ヒップホップなど、様々なジャンルのダンスに挑戦し、ダンス公演やパーティーなどのショーにも出演しています。ダンスだけでなく、所属している「マリ子ダンスシアター」の高安マリ子主宰のもと、ダンス・メディテーションやダンス・セラピーも勉強しています。また、学園祭で踊ったことがきっかけで、学生のダンス同好会ができ、顧問として指導も行っていきます。

事帰りに毎日通うようになりました。

今では、モダンダンス、ジャズダンス、バレエ、ヒップホップなど、様々なジャンルのダンスに挑戦し、ダンス公演やパーティーなどのショーにも出演しています。ダンスだけでなく、所属している「マリ子ダンスシアター」の高安マリ子主宰のもと、ダンス・メディテーションやダンス・セラピーも勉強しています。また、学園祭で踊ったことがきっかけで、学生のダンス同好会ができ、顧問として指導も行っていきます。

これからも、一人でも多くの方にダンスの楽しさを知っていただき、見るだけでなく、踊ることでもっと自由になれるといいなと思っています。皆さんも私たちと一緒に踊りませんか？

協会だより

正会員 59社
特別会員 1名
賛助会員 7社

事業推進委員の積極的な会員増強運動により
成果を得ることができました。
会員の皆様も入会紹介、勧誘にご協力ください。

「フィリピンIT研修生」と「事業推進委員会」との意見交換会 開催！

2月1日～2日の2日間、京都駅前のアパホテルにおいて、ANIA(全国地域情報産業団体連合会)経由、AOTS:(財)海外技術者研修協の要請により、「フィリピンIT人材研修生」との意見交換会を開催しました。昨年は、中国・西安から来日されたIT地域代表者とのビジネスミーティングが実施されており、2年連続の国際的な意見交換会となります。

初日は、京情協会会長社の見学要請を受け、京都電子計算機が会社概要を説明し、その後に意見交換を実施。2日目の意見交換会は、事業推進委員会のメンバーが担当しました。植田会長の挨拶に始まり、その後、出席者が自社企業の事業内容などを紹介、引き続いて意見交換会を行いました。

研修生は来日前にマニラで2カ月間、毎日日本語教育を受講し、その出席率と試験成績(70点以上)により参加資格を得るといいます。この結果、30名の受講者のうち20名が来日されました。当協会からは、AOTSに事前に京情協パンフレット・出席企業名簿(1社A4版1枚:役員名や担当者名などの固有名称(漢字)は別途カタカナで一覧表を作成)



真剣な眼差しが印象的

活発な意見交換を実施



を渡し、これを英語版に翻訳したものが研修生に提供され、予備知識は習得されていました。

意見交換会では、研修生一人ひとりにレシーバーが渡され、日本語から英語への同時通訳を聴き取られていました。また、英語から日本語へは逐次通訳となり、さながら国際会議の様相でした。2日間の京都滞在では、東京から京都への移動や京都観光(清水寺と金閣寺)などもあり慌ただしいスケジュールでしたが、食事をとりな

がら意見交換を行うなど、参加者の表情は真剣なものでした。また、その意気込みと真面目さには見習うべきものを感じました。

日本の商慣習やパートナーとの信頼関係、セキュリティ、言葉の障害、業務ノウハウなど克服すべき課題が、日本のIT業界とのパートナーシップには必要であると認識されたことと思います。来日された研修生はIT企業の経営者や指導者が中心で、ビジネスへのセールスアピールなどもあり、今更ながらアジアは大きく動いていることを感じた有意義なものでした。

京都ビジネス交流フェア2006 開催 —企業や大学、独自技術をアピール—



オープニング・テープカット

2月23日「京都ビジネス交流フェア2006」が国立京都国際会館で開催されました。

産業活性化を目指し、府と京都産業21が毎年開催しており、今年で7回目となります。中小企業の展示と商談を兼ね

た「京都ビジネスパートナー交流会」、産学連携の実例を紹介する「きょうと産学連携ビジネスミーティング」、講演会など多彩なイベントが、2日間にわたり行われました。

交流会には約200社が参加し(当協会はパンフレット出展)、中小企業が独自開発した加工部品や機器などを展示し、会場を訪れた企業関係者らに、熱心に説明されていました。今年は試作産業の推進コーナーが新設され、産官学で進められている受発注システムや、試作に取り組む企業グループの活動も紹介されました。

24日の午前10時30分からシャープの辻晴雄相談役が講演する「京都ものづくりフォーラム」、午後1時30分から環日本海経済交流センターの藤野文晤センター長が講演する「国際化セミナー」が行われました。



当協会パンフレット出展ブース

お知らせ

第28回
全情連大会・ANIAぎふ大会 開催

日時: 6月21日(水)～23日(金)
会場: 岐阜都ホテル
(岐阜市長良福光 2695-2)
テーマ: 「先達は真ん中「ぎふ」からはじまる」

Coffee break

～ミニ・ホエム～



SIMPLE LIFE

がつつつした、
せせこましい生き方を廃し、
行動において、ストイックな大人の余裕を。
心の中には、傷つきやすい、柔なものを孕み続け、
好奇心とロマンの突風ではちきれそうな内面を。
行動と内面を統一する原理として、
自らの求める道を。 ジョナサン

編集 後記

今号の「会長直言」記事で「日本人の精神文化」は重要なポイントです。「国家の品格」がベストセラーになっているのは納得できます。国家だけではなく、団体も企業も個人も、今以上に品格を持ちたいモノです。もちろんこのインターキョウトも。今後とも、ご指導・ご協力をお願いいたします。

京情協 WEB CONTENTS <http://www.kyojyokyo.or.jp>